



株式会社ビーアンドピー

2022年10月期 第1四半期 決算説明資料

証券コード 7804

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1

2022年10月期 第1四半期 業績サマリー

2

今期の取り組みと進捗状況

3

株主還元

4

成長ビジョン

5

参考資料

1

2022年10月期 第1四半期 業績サマリー

市場環境

- 昨年後半は新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着いたものの、今年に入りオミクロン株が急激に拡大し、社会活動に大きな影響を与える
- 当社の主たる事業領域である販促用広告分野において厳しい事業環境は継続

業績

売上高 **593**百万円 前年同期比 **23.7%**の増加 

営業利益 **31**百万円 前年同期比 **45**百万円の改善 

ポイント

- 営業体制強化や新規顧客獲得活動の積極展開により、主軸のインクジェットプリント事業が大きく回復し約24%増収
- 年度末販促活動の活発化により2Qも回復傾向が見込まれる
- デジタルサイネージ事業にて大型案件の受注を獲得
- デジタルプロモーション事業においてWebプロモーションを積極展開

2022年10月期 第1四半期 P/Lサマリー



売上高は前年同期比で**約24%**の増収
 増収効果により、営業利益も**前年の赤字から黒字へ転換**

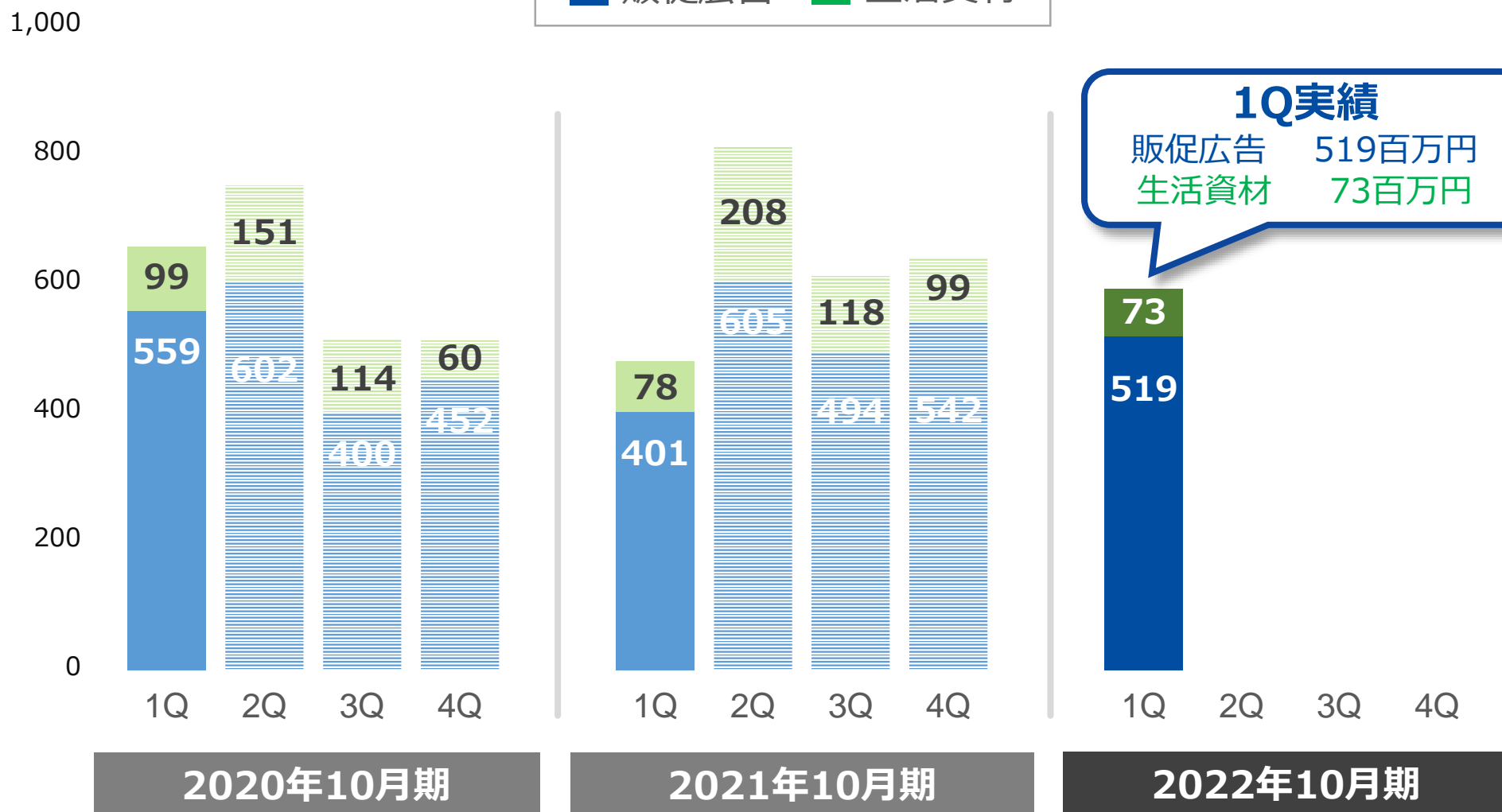
(単位：百万円)	2021.10 1Q (実績)	2022.10 1Q (実績)	対前年同期比 増減率 (%)	2022. 10 通期計画	進捗率 (%)
売上高	479	593	23.7%	2,750	21.6%
営業利益	▲14	31	-%	302	10.3%
経常利益	▲6	31	-%	302	10.3%
当期純利益	▲4	5	-%	206	2.4%

※役員退職慰労金の打ち切り支給額の一部を特別損失として計上

四半期単位の売上推移

販促広告関連は前年1Qより**大幅プラス**を達成
 2Qにおいて大口受注を順調に獲得、**業績は回復傾向**

(単位：百万円)



1Q実績
 販促広告 519百万円
 生活資材 73百万円

2

今期の取り組みと進捗状況

業績予想

主軸のインクジェットプリント事業の本格回復に加え、新たな成長戦略推進のための基盤づくりに着手。前期比約8%の増収、36%の営業増益を計画。

	2021年10月期 (実績)	2022年10月期 (予想)	増減率 (%)
(単位：百万円)			
売上高	2,549	2,750	+7.9%
売上総利益	1,001	1,122	+12.1%
売上総利益率	39.3%	40.8%	
営業利益	222	302	+36.0%
営業利益率	8.7%	11.0%	
経常利益	271	302	+11.3%
経常利益率	10.6%	11.0%	
当期純利益	189	206	+8.9%

2022年10月期の取り組みと進捗状況

インクジェットプリント事業

新規開拓の加速と営業力強化
新商材提案・Web集客強化
原価低減・設備投資

積極化

- 営業体制の強化に加えて、名古屋・福岡の新規顧客獲得活動を積極化
- 原価低減や生産性向上も奏功し、前年同期比で回復

デジタルサイネージ事業

販促分野・インテリア分野に向けたサイネージ機器提案
映像配信システムの導入提案

進展

- 販促用サイネージの大型受注を獲得
- 引き続き事業拡大に向けて積極的に施策推進

デジタルプロモーション事業

Webプロモーション提案
実店舗における販促提案

推進

- インクジェットプリント事業の既存顧客に対してWebプロモーションのキャンペーン企画の提案を開始

生産効率向上の取り組み

国内最大規模のインクジェットプリント生産拠点 「横浜ファクトリー」が稼働

首都圏エリアの生産機能を横浜へ統合し、大規模生産を実現
引き続き業務の自動化の取り組みにより効率化はさらに加速



新規ビジネス好発進 1Qから業績に貢献

小売店向け販促用サイネージの大型受注を獲得

商品棚に設置可能な小売店向け販促用サイネージを
大手メーカー様にご採用頂きました



2Q以降も着実な事業成長に向けて、積極的な営業活動を展開

3

株主還元

**株主への利益還元は経営上の重要施策であり
適切な内部留保を確保しつつ、安定した配当を維持継続**

	2021.10月期	2022.10月期
期末配当金	31円	31円 (予想)

4

成長ビジョン

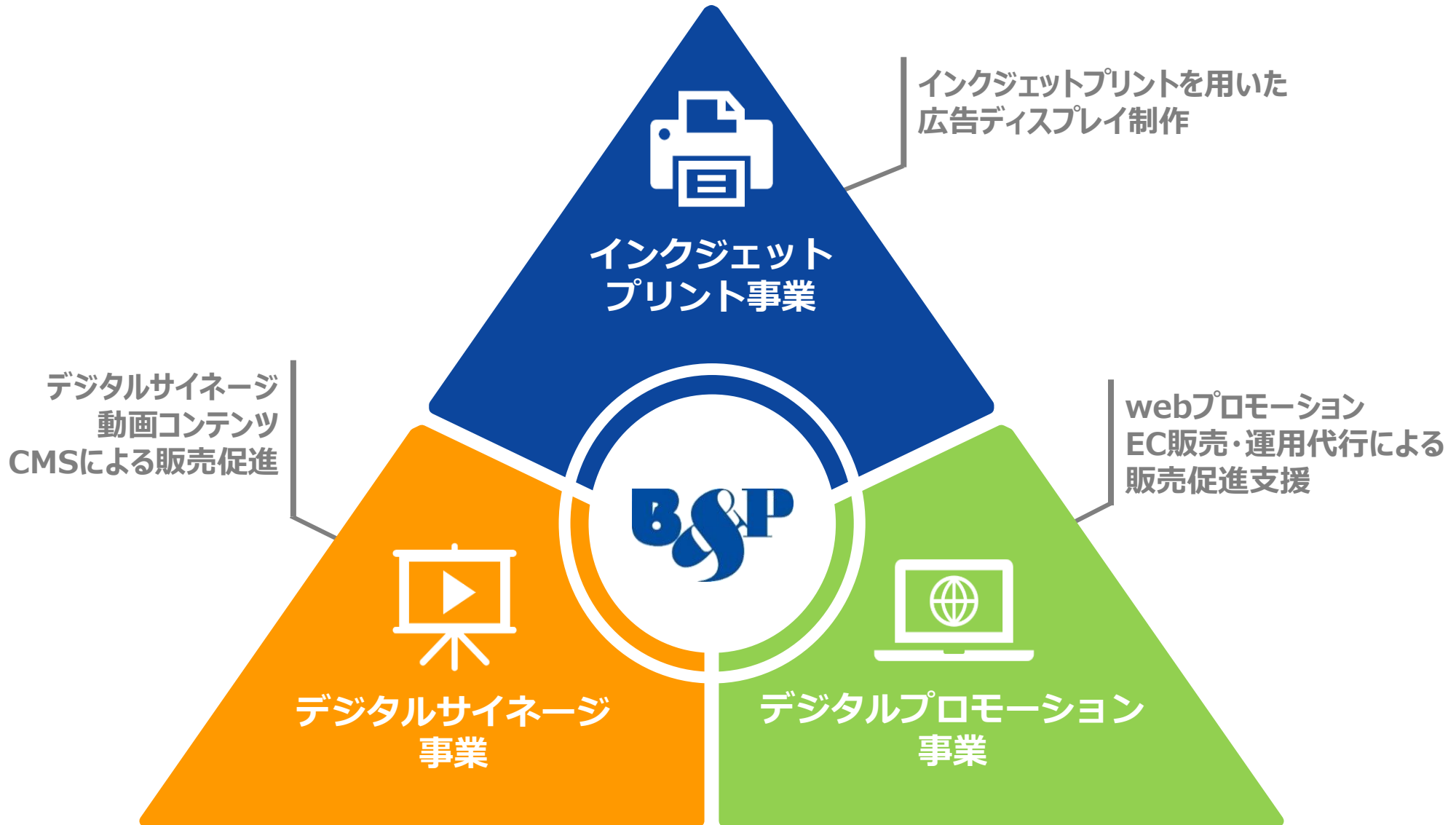
販売促進・マーケティングをトータルサポートする ワンストップ企業を目指します



インクジェットプリント事業で蓄積された
「販促ノウハウ」「生産能力」「顧客基盤」を活かし
あらゆる分野に対してセールスプロモーションの支援を行います

3つの事業領域

主力事業のインクジェットプリントを中心に デジタルサイネージ、デジタルプロモーションへ事業を拡大



「リアル」 × 「デジタル」

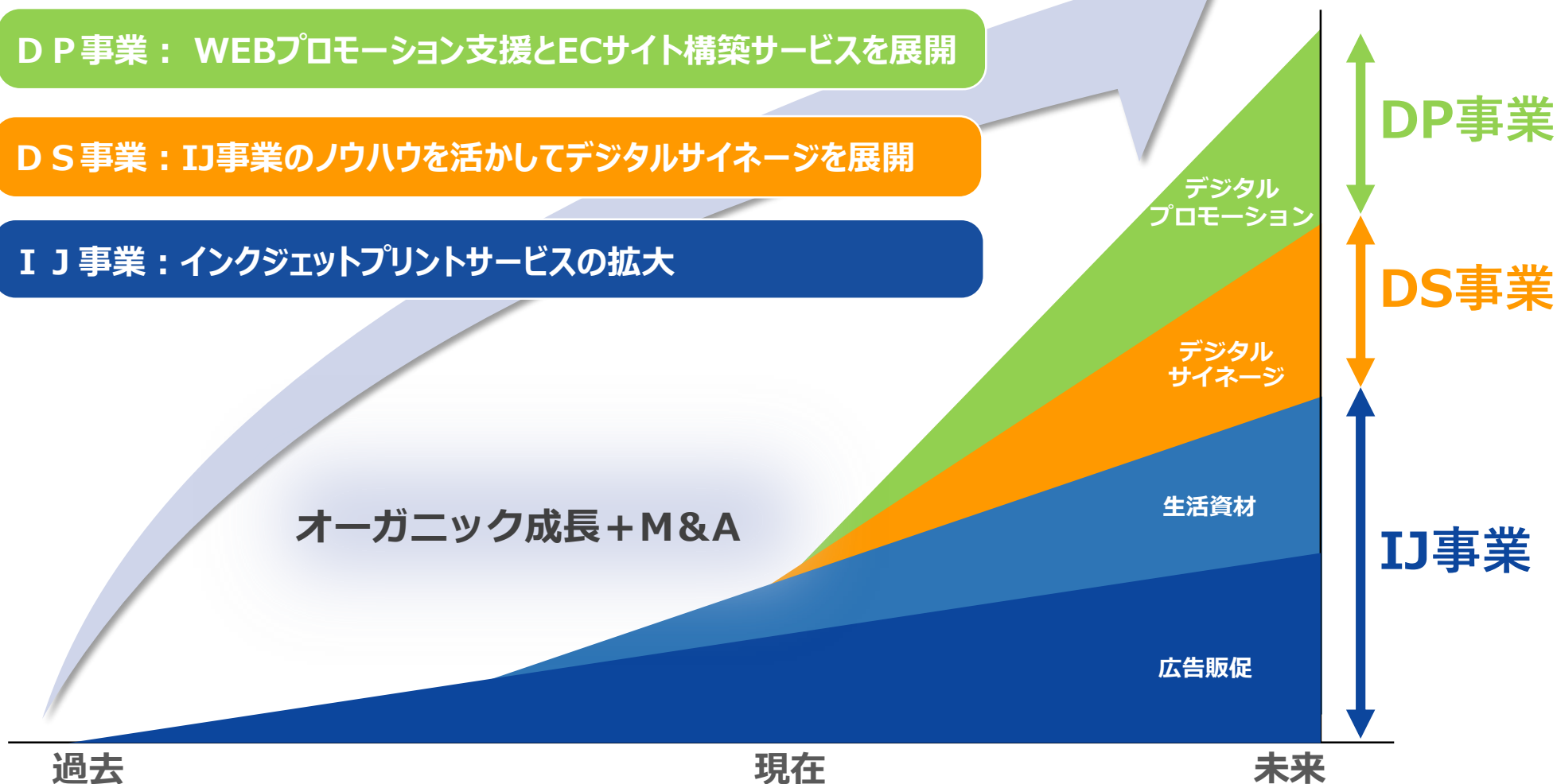
リアルとデジタルの両領域で幅広いサービスを展開していく

DP事業：WEBプロモーション支援とECサイト構築サービスを展開

DS事業：IJ事業のノウハウを活かしてデジタルサイネージを展開

IJ事業：インクジェットプリントサービスの拡大

オーガニック成長 + M&A



成長基盤を一層強化できる企業とのM&A

さらなる成長および企業価値向上の実現に向けて
プロジェクトチームを編成して積極的具体的に計画を進めてまいります

M&Aに関する基本戦略

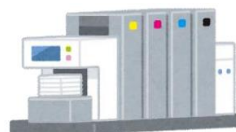


顧客基盤の 拡大



営業地域や
顧客層の拡大を図る

生産能力の 拡大



超量産ロットの
受注体制の構築

エリア販路の 拡大



エリアを広げ
販路を拡大していく

付加価値ビジネス への進出



新たに付加価値がある
ビジネスに進出する

5

參考資料

事業概要



企業理念 より良い働きを通じて全従業員の物心両面の幸せを創造し社会へ貢献する

事業内容 販売促進用サインディスプレイの制作
屋外用大型サイン・広告の制作
建物の内装、インテリア用品の出力、制作
広告企画および制作に関する提案業務
デジタルサイネージソリューションの提案業務
EC運営の総合支援
webプロモーションの提案

代表者 代表取締役社長執行役員 和田山 朋弥

設立 1985年10月

資本金 2億8千6百万円

本店 大阪府大阪市西区

事業所 大阪、東京、横浜、名古屋、福岡

従業員数 正社員：173名（2022年1月末現在）

上場証券取引所 東京証券取引所市場第2部（証券コード：7804）

上場日 2019年7月24日

拠点間で連携した営業・生産を実現しています。

大阪本店 (大阪市)

デジタルサイネージショールーム併設



東京本社 (東京都中央区)

デジタルサイネージショールーム併設



福岡営業所 (福岡市)



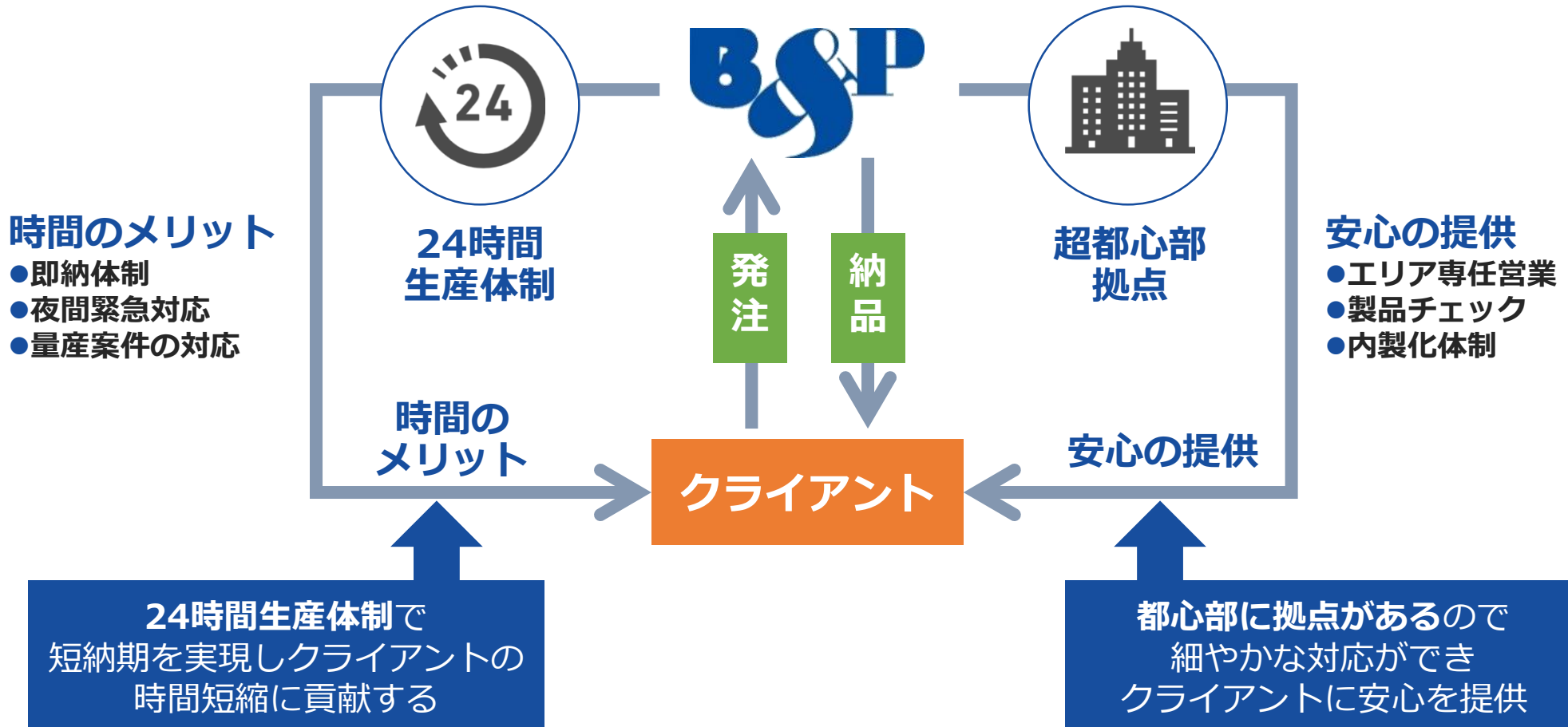
名古屋営業所 (名古屋市)

横浜ファクトリー (横浜市)



ビジネスモデル

「独自の付加価値サービス」を提供し、発注リピーターを増やす



全国都心部の拠点に生産設備を配置 24時間生産体制で短納期を実現しています



インクジェットプリント事業



100台以上の生産設備で多種多様な製品を制作 顧客要望に沿った最適な商品の提案しています

Mimaki 3DUJ-553

フルカラーUV効果インク
ジェット3Dプリンタ



EPSON P20050

水性インク出力機



Mimaki JFX500

フラットベッドUVインク出力機



HP LX360

ラテックスインク出力機



EPSON S80650

溶剤インク出力機



FOTOPA XLD

カッティングマシン
(ロール・シート印刷物対応)



EFI Vutek 5r

スーパーワイドUVインク出力機



UJV55-320

ワイドUVインク出力機



Kongsbelg XP

超高速マルチカッティングマシン



他にも、Mimaki UJV500 (UV機)、
Mimaki JV300 (溶剤機)等、
合計80台の出力機を保有しています。

2つの業界に対して商品を展開しています

SOLUTION 01

販売促進向けデジタルサイネージ

デジ棚



“デジ棚”のコンセプトはサイネージを置くのではなく“棚を丸ごと動画にする”という発想です。まさに「動く商品棚」です。動画コンテンツの配信・運用まで行います。

SOLUTION 02

インテリア分野向けデジタルサイネージ

デジ窓



“デジ窓”は「世界の風景を連れてくる」をコンセプトに窓のないオフィスやカフェ、会議室に彩りと安らぎをもたらす新しいデジタルサイネージです。

リアルとデジタルの販売促進をトータルでサポート

インクジェットプリント事業で蓄積された「販促ノウハウ」「顧客基盤」を活かし
多角的にセールスプロモーションを支援



EC運営代行



ECコンサル



サイト制作・
システム
開発支援



プロモーション



PR・SNS
運営代行



実店舗
販促支援

デジタルとリアルで商品・サービスの販売促進をトータルで サポートできるのがB&Pの強み

免責事項

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社ビーアンドピー 経営管理部

Email: ir_bp@bandp.co.jp

<https://www.bandp.co.jp/ir/>